

第二十八回句会 俳句

【高点句】

☆故郷に包まれるごと初湯かな

〈茂〉

☆かたことの挨拶できて初笑

〈眞澄〉

☆初観音散華ひとひら頂きて

〈明美〉

【各自一句】

・潮騒のとぎれる辺り笹子鳴く

〈眞澄〉

・初仕事富士を見るならこの角度

〈青蛙〉

・瓦屋根うろこ模様に雪の溶け

〈勇記夫〉

・冬芽立つ四十七士の眠る墓所

〈一馬〉

・年賀状子の婚約を書き添へて

〈明美〉

・凍空に昼の月浮く急くことなし

〈千恵〉

・書初や飾りて決意文字太し

〈撫子〉

・荒れし世をあまねく照らす初日かな

〈茂〉

・初電車いつもの顔の前に立つ

〈安津子〉

・初日の出ゆるみし大地も静まりて

〈童心〉

・初みくじ杞憂を知らぬ雀かな

〈莫院〉

\*以上、33句（3句ずつ11名）より、選句は13名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は、第2位が同点で2句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に

偶然記載された順に掲載）